

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 多機能型事業所ちやちやまる		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なことに挑戦することで、楽しみながら出来ることを増やせるような環境を作り支援をしています。体をたくさん動かせる環境にあり公園や、施設の庭を活用して外遊びも充実しています。	集団活動の内容を充実させるために、職員のミーティング時に子どもたちの成長レベルなども考えながら、みんなが楽しく参加出来る支援を行っています。	子どもたちのかかわりの幅を広げるために研修等な参加し情報収集を行っていきたくと思っています。
2	保護者様からのニーズに臨機応変に対応しています。お仕事をされている保護者様もいらっしゃるので、その時の状況に応じた対応出来るように心がけています。	連絡を取りやすい体制を整えています。すぐに対応できるように職員間で情報を共有し対策を考えています。	連絡が取れる機器を職員が常に保有していますが、対応が遅れてしまわないようにしていきます。
3	庭に小さな畑もあることから、野菜を作り食育にも力を入れています。	春には畑作りから始め、畑に植える野菜も子どもたちのと何を植えるかを決めて、種や苗を植えています。そうすることで、野菜の成長を観察することが出来、収穫する楽しみを体験することが出来ます。また、みんなで育てた野菜を食べる経験することで苦手な野菜を克服するきっかけ作りも行っています。	アレルギーや皮膚の炎症などにも配慮しながら行っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の構造、設備等がバリアフリー化されていません。	決められた構造なので危険なところは把握し、滑らない工夫や補強をしています。	部屋の行き来があり、走り回るなどの危険を伴う場合があるので安全確保が必要だと考えています。
2	地域の人々子ども達との交流がほとんど参加できていません。	利用時間や曜日に交流する機会が難しいということが現状です。	長期休みなどを通して、交流出来る機会を見つけて参加出来るようにしたいと思います。
3			